

取扱説明書

IHクッキングヒーター

KM 7564 FL, KM 7684 FL



お客様の安全を確保し機器の損傷を避けるため、設置する前や初めてご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

安全上のご注意	5
環境保護のために	13
各部の名称	14
クッキングヒーター	14
KM 7564 FL	14
KM 7684 FL	15
コントロールパネル	16
調理ゾーン	18
初めてお使いになる前に	20
初めてお使いのときのクリーニング	20
初めてお使いになる前に	20
Miele@home	21
原理	24
使用中の音	24
電力管理	25
鍋	26
節電のポイント	28
火力レベル範囲の設定	29
操作	30
本製品の使用	30
電源を入れる	31
火力レベルを設定する	31
調理ゾーンをオフにする	31
余熱表示	31
火力レベル設定 - 拡張火力レベル設定	32
PowerFlex調理領域	33
自動加熱	34
Booster	35
保温	36
タイマー	37
キッチンタイマー	37
自動スイッチオフ	38
両方のタイマー機能を同時に使用する	38
その他の機能	39
Stop & Go	39
直前設定の復帰	39
ワイブプロテクション	40

目次

デモモード	40
クッキングヒーターのデータを表示する	40
安全性機能	41
システムロック/セーフティロック	41
安全のためのスイッチオフ機能	42
過熱防止機能	43
プログラミング	44
清掃とお手入れ	47
こんなとき、どうしたらいい?	49
ディスプレイのメッセージ	49
予期しない動作	51
期待通りの結果にならない	52
一般的な問題または技術的な障害	52
アクセサリと洗剤	53
設置	54
電源接続と設置	54
安全な離隔距離	55
設置上の注意	59
カウンター表面設置	59
フラッシュ設置	60
シールストリップ	60
設置寸法 - カウンター表面設置	61
KM 7564 FL	61
KM 7684 FL	62
カウンター表面設置	63
設置寸法 - フラッシュ	64
KM 7564 FL	64
KM 7684 FL	65
フラッシュ設置	66
電源接続	67
アフターサービス、型式表示シール	68
故障の際の連絡先	68
型式表示シール	68
保証条件と保証期間	68

安全上のご注意

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例



禁止（してはいけないこと）

具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。



強制（必ずすること）

具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。



注意（警告を含む）

具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 禁止行為	 潜在的な危険・警告・注意
 分解禁止	 感電注意
 水場、湿気の多い場所での使用禁止	 機器に損害を与える可能性のある場合
 接触禁止	 発火注意
 強制／指示	 高温注意
 電源接続に関する注意	 破裂注意
 必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切なご使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意



警告

本製品は、すべての安全要件に適合しています。ただし、正しくお使いにならないと、人的損害または物的損害を招く危険性があります。

本製品に対する事故または損傷の危険を避けるために、本製品を設置するときや初めてご使用される前に、この取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書には、製品を正しく設置して安全にお使いいただくための注意事項と、お手入れに関する重要な情報が記載されています。

ミーレはこれらの指示に従わないことにより生じる被害や損害の製造者責任を負いません。

本書は大切に保管し、新しい使用者に内容をよく理解してもらうようにしてください。本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。



警告

正しい用途

 本製品は、家庭およびそれに類似する環境に使用することを目的としています。

 本製品は、屋外で使用することを想定していません。

  本製品は調理および食品の保温のための家電機器としてのみお使いください。その他の用途で使用した場合の製造者責任は負いかねます。用途を誤ると事故や損傷を招く危険性があります。

  身体的、感覚的、精神的に介護を要する方、または操作経験のない方、操作方法を理解していない方がご使用になる場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮し、操作に伴う危険について説明するようにしてください。安全な使用方法がしっかりと説明されている場合に限り、監督者がいなくても本製品をご使用いただけます。誤った使用による危険性を認識し、理解していることが必要です。



警告



システムロックを有効にして、お子様がうっかり本製品の電源を入れることのないようにしてください。クッキングヒーターの使用中はセーフティロックをオンにして、お子様が設定を変更することのないようにしてください。

お子様の安全



8歳未満のお子様からは、目を離さず、本製品に近づかないように注意してください。



8歳以上のお子様は、操作の説明を明確に受けていて、安全に使用できる場合に限り、監督者なしで本製品をご使用いただけます。お子様は、誤った操作による危険性を認識し、理解している必要があります。



監督者のいない状態で、お子様に本製品のお手入れやメンテナンスをさせることはできません。



本製品の近くではお子様に注意し、また本製品の近くで遊ばせないでください。



本製品は、使用中はもちろんのこと、電源を切った後もしばらくは高温の状態が続きます。冷めてやけどの危険がなくなるまで、お子様を本製品に近づけないでください。



やけどのおそれがあります。本製品の上方や後方の収納場所に、お子様が興味を持つような物を保管しないでください。



お子様が本製品の上に登ってやけどをするおそれがあります。



やけどの恐れがあります。鍋やフライパンを調理ゾーンに置く際には、お子様が引っ張ってやけどをすることのないように、配置を考えてください。



窒息の危険あり！お子様が遊んでいる最中に梱包材（ビニールのラップなど）に巻き込まれてしまったり、頭からかぶったりすると、窒息する恐れがあります。梱包材をお子様に近づけないでください。

安全上のご注意



警告

技術的安全性

 不適切な設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じる恐れがあります。設置、メンテナンス、修理は、ミーレの認定技術者のみが行えます。

 本製品に損傷があると、安全性が損なわれるおそれがあります。本製品の外観に損傷がないか確認してください。損傷がある場合は、本製品を使用しないでください。

 本製品の電氣的な安全性は、正しく接地されたときにのみ保証できます。この基本的な安全要件を満たすことが重要です。問題がありそうな場合は、資格を有する電気技師に依頼して、家屋内の電気配線の検査を依頼してください。

 本製品への損傷のおそれを防ぐため、本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、型式表示シールに記載されている仕様データ（定格消費電力、電圧、周波数）が設置場所の主要電源と合致していることを確認してください。不明な点がある場合は、資格を有する電気技術者に問い合わせてください。

 延長コードやマルチソケットを使用したたこ足配線で電源に接続しないでください。これらの場合、火災のおそれがあり、本製品の安全性を保証できません。

 安全上の理由から本製品はビルトイン設置された後にのみ使用できます。

 本製品は、固定されていない場所（船など）で使用しないでください。

 本製品の筐体を絶対に開けないでください。

 電氣的接続、コンポーネント、機械部品を触ったり改造したりすると、非常に危険であり、動作障害を引き起こすおそれがあります。

 本製品が保障期間中の場合、ミーレ認定のサービス技術者が修理を行う必要があります。それ以外の人物が修理を行った場合、保証は無効になります。

 ミーレが機器の安全性を保障できるのは、ミーレの純正交換部品が使用されている場合のみです。障害のあるコンポーネントを交換する際には、必ずミーレのスペアパーツを使用してください。

 本製品は、外付けのタイマースイッチや遠隔制御を使用することを想定していません。

 本製品を電源に接続できるのは、資格のある電気技術者のみです（「設置」 - 「電気接続」参照）。

 電源コードが損傷している場合は、資格のある電気技術者が専用の電源コードと交換しなければいけません（「設置」 - 「電源接続」参照）。

 設置、メンテナンス、修理作業の最中は、本製品が電源から完全に遮断されていなければいけません。設置作業、メンテナンス、または修理作業が完了するまで、電気が機器に供給されてはいけません。

 感電のおそれ。本製品に問題がある場合、またはセラミック面にひび、欠け、または破損がある場合は、使用しないでください。電源をすぐにオフにしてください。電源プラグから本製品のコンセントを抜いてください。ミーレのサービスまでご連絡ください。

 本製品を扉付きのキャビネットの中に設置する場合、必ず扉を開けた状態で使用してください。熱と湿気が閉じた扉の後ろにこもるおそれがあります。これにより、本製品、収納キャビネット、床面に損傷が生じるおそれがあります。余熱表示が消えるまで、扉を閉じないでください。



注意

正しい使用方法

 本製品は使用中熱くなり、オフにした後もしばらく高温の状態が続きます。余熱表示が消えるまで、やけどのおそれがあります。

 油脂は過熱されると火災を引き起こすおそれがあります。油脂の調理をする際は、本製品のそばを離れないでください。発火した場合は、水で火を消そうとしないでください。
クッキングヒーターを主電源から遮断し、適切な防火毛布、鍋のふた、湿ったタオルなどをかぶせて火を消してください。

 使用中は本製品のそばを離れないでください。煮たり、焼き上げている間は、目を離さないでください。

 炎はレンジフードのグリースフィルターに引火するおそれがあります。レンジフードの下でフランベをしないでください。

  スプレー缶、エアゾール、その他の可燃性物質は、加熱されると発火することがあります。このような物や物質を、本製品の下の引き出しに保管しないでください。本製品の下にある引き出しは耐熱性である必要があります。

 空のフライパンを加熱しないでください。

  缶詰や密閉された瓶など、密閉容器の中に入っている食べ物を本製品で加熱しないでください。圧力が容器の中で高まり、爆発するおそれがあります。

安全上のご注意

-  カバー、布、保護ホイルで本製品を覆わないでください。本製品の電源を誤ってオンにした場合や、余熱が残っている場合は、材料が発火したり砕けたり、または溶けるおそれがあります。
-  本製品を他のものを置く台として使用しないでください。本製品の上にナイフやフォークなどの小物類またはその他の金属物を絶対に置かないようご注意ください。
- 意図的にまたは誤って本製品の電源を入れたり、または余熱がある場合、本製品に金属製のものが残っていると加熱され、やけどするおそれがあります。材質によっては、本製品に残っている他の物も溶けたり燃えたりするおそれがあります。湿ったフライパンのふたは、セラミック面に付着して外れにくい場合があります。本製品を保管場所として使用しないでください。使用後は調理ゾーンをオフにしてください。
-  本製品が熱いとやけどするおそれがあります。熱い鍋やフライパンを取り扱う時は、耐熱の鍋つかみなどで手を保護してください。鍋つかみなどを使用する場合、布を濡らさないでください。濡らすと材質に熱が伝わるのが早まり、かえってやけどのおそれが高くなります。
-  ハンドミキサーなど、電気器具を本製品の近くで使用する場合、電気器具のコードが熱い調理ゾーンに接触しないようにしてください。コードの断熱材が損傷する可能性があります。
-  塩、砂糖、砂（野菜を洗った時にでるものなど）が鍋底の下に入ると、傷がつくおそれがあります。鍋を置く前に、セラミック面がきれいなことを確認してください。
-  軽い物でも、場合によっては損傷を引き起こすおそれがあります。セラミック面に物を落とさないでください。
-  熱い鍋をセンサーや表示ランプの上に置くと、下の電子基盤が損傷するおそれがあります。熱い鍋をセンサーや表示ランプの上に置かないでください。
-  調理ゾーンが熱くなっている時は、砂糖、シロップ、プラスチック片、アルミホイルなどを調理ゾーンに落とさないようにしてください。調理ゾーンが冷めたときに、セラミックの表面に損傷を引き起こすおそれがあります。落としてしまった場合は、本製品の電源をオフにし、まだ熱いうちに、ガラスに適したシールド付きスクレーパーを使用して、砂糖、プラスチック、アルミニウムなどの残留物をすべてこすり落としてください。手袋を着用してやけどをしないように注意してください。セラミックガラスの表面を冷ましてから、セラミッククッキングヒーターに適したクリーナーでお手入れしてください。
-  鍋を空焚きすると、セラミックガラスが損傷するおそれがあります。使用中は本製品のそばを離れないでください。
-  底が滑らかな鍋やフライパンのみを使用してください。鍋の底面が荒いと、セラミックガラスに傷がつきます。
-  本製品では鍋を持ち上げるようにしてください。鍋を引きずると、引きずった跡がついたり、傷がついたりします。
-  IH は非常に短時間で鍋が加熱されるので、特定の状況下で鍋の底の温度が急激に上昇し、油や脂肪が発火する恐れがあります。使用中は、本製品から離れないでください！

安全上のご注意

 油や脂肪の加熱は最長1分にとどめてください。油や脂肪の加熱にはBoosterモードを使用しないでください。

 心臓ペースメーカーをご使用の方は、以下をお読みください：本製品の周辺は電磁性を帯びています。ペースメーカーへの影響について不明点がある場合は、ペースメーカーの製造元または担当医にご相談ください。

 磁場の影響を受けやすいもの（クレジットカード、記憶媒体、小型電卓など）の損傷を防ぐために、これらのものを本製品のすぐそばに放置しないでください。

 本製品を長時間集中的に使用した場合、本製品の下にある引き出しに保管した金属製の器具が熱くなる可能性があります。

 本製品には冷却ファンが装備されています。本製品のすぐ下に引き出しがある場合は、本製品に十分な換気を確認できるように、引き出しとその中身、および本製品の下の間に十分なスペースがあることを確認してください。

 本製品のすぐ下に引き出しがある場合は、先のとがったもの、小さなもの、紙などを引き出しに保管しないでください。換気スロットに入り込んだり、ファンによって本体に吸い込まれたりして、ファンが損傷したり換気の妨げになったりする恐れがあります。

 1つの調理/ 拡張ゾーンで同時に2つの鍋を使用しないでください。

  調理器具が調理ゾーン/ 拡張ゾーンの一部にしか乗っていない場合、持ち手が非常に熱くなる恐れがあります。調理器具は必ず調理ゾーン/ 拡張ゾーンの中央に置いてください！

  調理器具用IHアダプタープレートを使用すると、IHジェネレーターが破損または破壊される可能性があります。IHアダプタープレートは使用しないでください。

安全上のご注意



注意

お手入れ

- ⊘ 本製品の掃除にスチームクリーナーを使用しないでください。
スチームが電気部品に到達し、ショートを引き起こす可能性があります。
- ⊘ 本製品がミーレのパイロリティック機能付きオーブンの上に設置されている場合は、本製品をパイロリティック（熱洗浄）機能作動中に使用しないでください。本製品の過熱防止機能が作動する可能性があります（関連セクション参照）。

ミーレは、クッキングヒーターの製造終了後も、最低 10 年および最長 15 年、スペアパーツの供給を継続します。

梱包材の廃棄処分

梱包は本製品を輸送の際の損傷から保護するものです。梱包材は廃棄する際に環境への影響が少ない材質を使用しているため、リサイクルすることを推奨します。

梱包材をリサイクルすることで、製造工程での原材料の使用、また、埋め立て地へ廃棄する量を削減することができます。

使用済み製品の廃棄処分

電気および電子機器には、貴重な材料が含まれている場合があります。

また、製品が正しく安全に作動するために不可欠な特定の金属、化合物、および部品も含まれています。これらは家庭ごみとして廃棄されたり不適切に取扱いをすると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。したがって、家庭ごみと共に不要になった製品を廃棄しないでください。

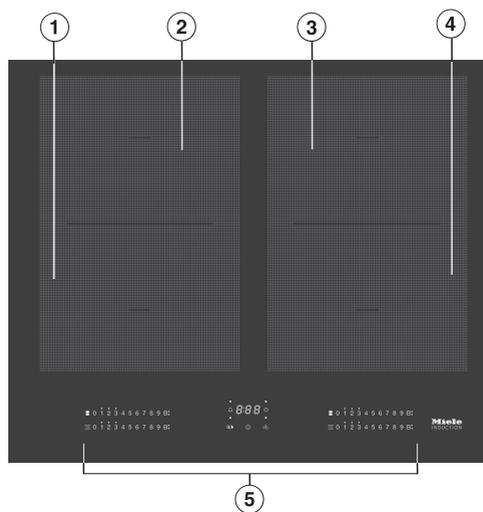


電気および電子機器について、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社代理店のアドバイスを受けてください。また使用者には廃棄する家電機器に保存されている可能性がある個人情報を削除する責任があります。不要になった製品を処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

各部の名称

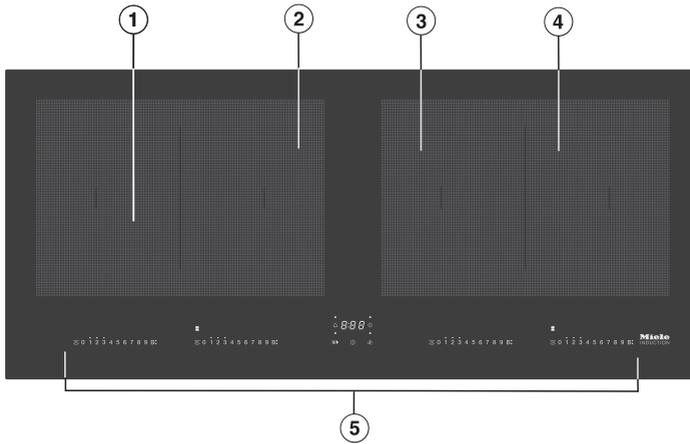
クッキングヒーター

KM 7564 FL



- ① PowerFlex 調理ゾーン (TwinBooster 付き)
- ② PowerFlex調理ゾーン (TwinBooster付き)
 - ① を組み合わせてPowerFlex調理領域にすることが可能
- ③ PowerFlex調理ゾーン (TwinBooster付き)
 - ④ を組み合わせてPowerFlex調理領域にすることが可能
- ④ PowerFlex 調理ゾーン (TwinBooster 付き)
- ⑤ 操作パネルと表示ランプ

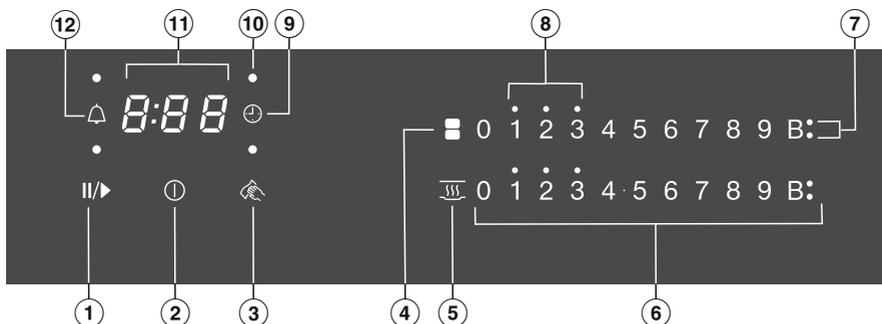
KM 7684 FL



- ① PowerFlex 調理ゾーン (TwinBooster 付き)
- ② PowerFlex調理ゾーン (TwinBooster付き)
 - ① を組み合わせてPowerFlex調理領域にすることが可能
- ③ PowerFlex 調理ゾーン (TwinBooster 付き)
- ④ PowerFlex調理ゾーン (TwinBooster付き)
 - ③ を組み合わせてPowerFlex調理領域にすることが可能
- ⑤ 操作パネルと表示ランプ

各部の名称

コントロールパネル



センサーコントロール

- ① クッキングヒーターのオン/オフ
- ② Stop & Go
進行中の調理プロセスを停止/開始する
- ③ ワイププロテクション
センサーコントロールをロックする
- ④ PowerFlex 調理ゾーン
PowerFlex 調理ゾーンを手動で組み合わせる/解除する
- ⑤ 保温
保温機能を有効/無効にする
- ⑥ 数字キーパッド
- 火力レベルの設定
- 時間の設定
- ⑦ 自動スイッチオフ
調理ゾーンを自動スイッチオフする
- ⑧ キッチンタイマー

ディスプレイ/表示ランプ

- ⑨ 調理ゾーン割り当ての自動スイッチオフ
調理ゾーンの自動スイッチオフが有効
- ⑩ 余熱
- ⑪ Booster 機能
Booster 機能が有効
- ⑫ タイマー表示部

0:00 ~ 9:59 時間

LOC システムロック/セーフティロックが有効

dE デモモードが有効

各部の名称

調理ゾーン

KM 7564 FL					
調理ゾーン	サイズ ¹ cm		200 V の最大消費電力 (W) ³		リンクする調理ゾーン ⁴
	Ø ¹	□ ²			
①	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	④
②	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	③
③	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	②
④	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	①
① + ② ③ + ④	22-23	23 x 39	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	2800 4000 5900	-
			合計	5900	

¹ 記載されている範囲内の底径の調理器具が使用できます。

² 記載されている範囲は、使用できる調理器具の最大底面サイズに対応します。

³ 記載されているワット数は、使用する調理器具の大きさや材質によって異なります。

⁴ 調理ゾーンはこの調理ゾーンに電氣的にリンクされているため、消費電力を上げることができます。
「電力管理」を参照してください。

各部の名称

KM 7684 FL					
調理ゾーン	サイズ cm		200 V の最大消費電力 (W)		リンクする調理ゾーン ⁴
	∅ ¹	□ ²	³		
①	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	④
②	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	③
③	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	②
④	15-23	19 x 23	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	1750 2500 3100	①
① + ② ③ + ④	22-23	23 x 39	標準 TwinBooster レベル 1 TwinBooster レベル 2	2800 4000 5900	-
			合計	5900	

¹ 記載されている範囲内の底径の調理器具が使用できます。

² 記載されている範囲は、使用できる調理器具の最大底面サイズに対応します。

³ 記載されているワット数は、使用する調理器具の大きさや材質によって異なります。

⁴ 調理ゾーンはこの調理ゾーンに電氣的にリンクされているため、消費電力を上げることができます。
「電力管理」を参照してください。

初めてお使いになる前に

- 本製品に同梱の予備の型式表示シールを本書の「アフターサービス、型式表示シール」のページに貼り付けてください。
- 保護材とラベルを取り外します。

初めてお使いのときのクリーニング

- 初めて使用する前に、湿らせた布で本体を掃除し、乾いた布で水気を拭きとります。

初めてお使いになる前に

金属部品には保護コーティングが施されており、初めて加熱したときにわずかな臭いを発することがあります。誘導コイルも、初めて作動したときに最初の数時間わずかな臭いを発することがあります。この臭いは本製品の使用を重ねると目立たなくなり、やがて完全に消えます。

発生する臭いや蒸気は、接続不良や機器の故障を示すものではなく、健康に害を及ぼすものでもありません。

IHクッキングヒーターは、従来型のコンロよりも加熱時間がはるかに短いのでご注意ください。

初めてお使いになる前に

Miele@home

前提条件: 家庭内WiFiネットワーク

本製品はWiFiモジュールを備えています。本製品は家庭内WiFiネットワークに接続できます。

本製品を設置する場所で、WiFi ネットワーク信号強度が十分であることを確認してください。

お使いのクッキングヒーターを家庭内WiFiネットワークに接続する方法はいくつかあります。

本製品はネットワークに接続したスタンバイ時に、最大 2 W を必要とします。

WiFi 接続の利用について

WiFi 接続は他の電化製品（電子レンジや遠隔操作のおもちゃなど）と周波数帯域を共有しています。そのため、断続的または完全な接続障害が発生する可能性があり、搭載された機能が常に利用可能であるという保証はできかねますので、ご了承ください。

Miele@homeのご利用

Miele アプリのご利用が可能かどうかは、お住まいの国でMiele@homeのサービスをご利用できるかによって異なります。

Miele@homeサービスは全ての国でご利用いただけるとは限りません。

Mieleアプリ

Mieleアプリは、Apple App Store[®] または Google Play Store[™]から無料でダウンロードできます。



Mieleアプリをモバイル端末にインストールすると、次の操作を行えるようになります：

- クッキングヒーターの稼働状況に関する情報の呼び出し。
- クッキングヒーターのプログラムシーケンスに関する情報の呼び出し。
- 他の WiFi 対応ミューレ機器との Miele@home ネットワークのセットアップ。

WiFiモジュールの周波数帯 2.412-2.472 GHz

WiFiモジュールの最大送信電力 < 100 mW

初めてお使いになる前に

Miele@home のセットアップ

アプリ経由の接続

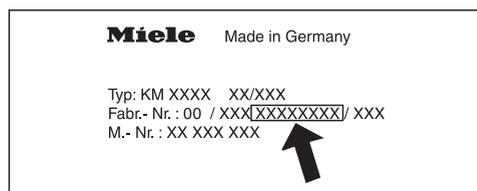
Mieleアプリを使ってネットワークに接続できます。

- Mieleアプリをお使いのモバイル端末にインストールします。

接続には、次のものがが必要です。

1. WiFi ネットワークのパスワード
2. お使いのクッキングヒーターのパスワード

お使いのクッキングヒーターのパスワードは、製造番号の下9桁です。これは、本製品の型式表示シールに記載されています。



- クッキングヒーターをオンにします。
- Mieleアプリを起動します。
- 任意の数字キーパッドの 0 のセンサーコントロールをタッチします。
- 0 と 5 のセンサーコントロールを同時に6秒間押します。

秒数はタイマー表示部でカウントダウンされます。時間が経過すると、**ℓ:01** コードがタイマー表示部に10秒間表示されます。

ここから10分以内にWiFiの設定を完了してください。

- アプリの指示に従います。

WPS経由で接続

前提条件：お使いのルーターが WPS (WiFi Protected Setup) に対応している必要があります。

- クッキングヒーターをオンにします。
- 任意の数字キーパッドの 0 のセンサーコントロールをタッチします。
- 0 と 6 のセンサーコントロールを同時に6秒間押します。

秒数はタイマー表示部でカウントダウンされます。時間の経過後、接続を試行している間、進行中ライトが表示されます (最大120秒間)。

WPS ログインは、この120秒間のみ有効です。

- WiFi ルーターでWPS機能を有効にします。

接続が成功した場合は、タイマー表示部に **ℓ:02** コードが表示されます。接続を確立できなかった場合は、タイマー表示部に **ℓ:01** コードが表示されます。お使いのルーターでWPS有効化が間に合わなかった可能性があります。上記の手順を繰り返します。

ヒント: WiFiルーターがWPSをサポートしない場合は、Mieleアプリ経由で接続してください。

プロセスの取り消し

- 任意のセンサーコントロールにタッチします。

設定のリセット

ルーターを交換する場合、リセットは必要ありません。

- クッキングヒーターをオンにします。
- 任意の数字キーパッドの 0 のセンサーコントロールをタッチします。
- 0 と 9 のセンサーコントロールを同時に6秒間押します。

秒数はタイマー表示部でカウントダウンされません。時間が経過すると、**C:00** コードがタイマー表示部に10秒間表示されます。

本製品を処分する場合、販売する場合、中古品を作動させる場合は、設定をリセットします。これは、すべての個人データが削除され、以前の所有者が本製品にアクセスできなくなることを確実にする唯一の方法です。

原理

各調理ゾーンの下には、誘導コイルがあります。このコイルで磁界が発生し、それが鍋の底に直接作用して加熱します。調理ゾーン自体は、鍋から発生する熱によって間接的に加熱されます。

IH調理ゾーンは、置かれている調理器具の底面が磁性体の場合にのみ機能します（「調理器具」参照）。調理器具のサイズは IH により自動的に認識されます。

 熱いものによるやけどのおそれ。

意図的にまたは誤って本製品の電源を入れた場合や余熱があるときは、本製品の上に置かれた金属製のものが加熱するおそれがあります。

本製品を他のものを置く台として使用しないでください。

使用後は、①センサーコントロールで電源を切ってください。

使用中の音

IHクッキングヒーターの使用中に、鍋の材質や構造によって、鍋から以下のような音がする場合があります。

火力設定が高い場合にブーンという音がすることがあります。火力設定を下げることで、音は小さくなるか、完全に止まります。

鍋の底が異なる素材からなる複数の層（サンドイッチ構造）でできている場合、ひび割れるような音がすることがあります。

リンクするゾーン（「操作」 - 「Booster」を参照）を同時に使用し、鍋の底が異なる材質からなる複数の層でできている場合、ヒューツと笛のような音がすることがあります。

特に火力設定が低いときに、電子スイッチからカチツという音がすることがあります。

冷却ファンが作動すると、ヒュー（ブーン）という音がします。本製品が集中的に使用されると、電子回路を保護するため作動します。冷却ファンは、本製品がオフになった後もしばらく作動し続ける場合があります。

電力管理

安全上の理由から、クッキングヒーターの最大総許容電力消費量を超えることはできません。

調理ゾーンは、クッキングヒーター上で相互にペアでリンクすることができます。これにより、火力を1つの調理ゾーンから別の調理ゾーンに移行させることができます。

以前に設定された設定が優先され、クッキングヒーターはこのレベルで動作します。

火力が1つの調理ゾーンからリンクされた調理ゾーンに移行された場合、最初の調理ゾーンの火力を減らす必要があります。

最大総許容電力消費量とリンクされている調理ゾーンの可能な値は、「各部の名称」 - 「調理ゾーン」に記載されています。

新しい調理ゾーンが最初の調理ゾーンで使用できるよりも多くの火力を必要とする場合、最初の調理ゾーンで次のことが起こり得ます：

- 火力レベルが低下する。
- 自動加熱が無効になる。調理が設定された火力で続行される。火力が不足している場合、火力レベルが再び低下する。
- Booster機能が無効になる。
- 調理ゾーンがオフになる。

最後に設定した火力レベルを下げるか、Booster機能をオフにすると、リンクされた調理ゾーンの火力レベルを再び上げられるようになります。

鍋

使用に適した鍋

- 底に磁性体のあるステンレス鍋
- ほうろう加工のスチール鍋
- 鋳鉄鍋

鍋底の性質は、鍋の中の食品が加熱される際の均一性に影響する可能性がありますのでご注意ください（パンケーキを作る時など）。鍋底は、均等に熱を伝えることができる必要があります。ステンレス製のサンドイッチ構造の鍋底は特に適しています。

使用に適さない鍋

- 底に磁性体のないステンレス鍋
- アルミニウム製または銅製の鍋
- ガラス製、磁器、陶器の鍋
- 底にステンレス等をはめ込んだ貼り底タイプの鍋
- 底に凹凸（反りや脚）がある鍋

IH対応という表記の鍋でも、素材や構造により本製品で正常に使用できないものがあります。詳細は、ミーレのウェブサイトの「サービス」を参照してください。

鍋の使用確認

鍋がIH対応か確認するには、鍋底に磁石を近づけます。磁石が付く場合、たいていその鍋は使用できます。

鍋がない/使用に適さない鍋の表示

以下の場合、調理ゾーンの数字キーパッドで設定された火力レベルが点滅します

- 鍋を置かずに調理ゾーンをオンした場合、または置かれた鍋が使用に適さない場合（非磁性の鍋底）
- 鍋底の直径が小さすぎる場合
- 調理ゾーンがオンの状態で鍋が離された場合

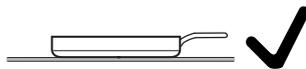
3分以内に調理ゾーンに適切な鍋を置くと、点滅していた火力レベルは消灯し、通常通り調理を続行することができます。

調理ゾーンに鍋が置かれていない場合や使用できない鍋が置かれた場合は、調理ゾーンは3分後に自動的にオフになります。

ヒント

- 調理ゾーンを最適に使用するためには、適切な底径の調理器具を選びます（「各部の名称」 - 「調理ゾーン」参照）。鍋が小さすぎると認識されません。
- 調理器具は調理ゾーン/調理領域のできるだけ中央に配置します。
- 底が滑らかな鍋やフライパンのみを使用してください。鍋の底が粗いと、セラミックガラスに傷がつく場合があります。
- 調理器具は必ず持ち上げてから動かしてください。引きずらずに持ち上げることで、傷がつくのを防ぎます。調理器具が引きずられた結果傷がついても、クッキングヒーターの機能には影響はありません。このような傷は通常の使用によるものであり、苦情としてお受けすることはできません。

- メーカーが表示する最大直径とは、鍋やフライパンの上部の直径を指す場合も多いので、ご注意ください。鍋底の直径（一般的に他の部分より小さい）が、より重要です。



- 可能な限り、側面が垂直な直線の鍋をご利用ください。鍋の側面が傾斜している場合、IH は鍋の側面にも作用してしまいます。鍋の側面が変色したり、コーティングが剥がれたりするおそれがあります。

節電のポイント

- 熱がうばわれるのを最小限に抑えるために、できる限り鍋のふたを使用してください。
- 少量を調理する時は、小さめの鍋を選びます。小さい鍋は、少量しか入れない大きな鍋よりも消費電力が少なくなります。
- できるだけ少量の水で調理します。
- 食品が沸騰してくるか、またはフライパンの中の油が揚げられるぐらいまで熱くなったら、火力を低くします。
- 圧力鍋を使用すると調理時間を短縮することができます。

火力レベル範囲の設定

本製品は出荷時、火力レベルは9段階で設定されています。設定を微調整したい時は、火力レベルの範囲を17段階に拡張することができます（「プログラミング」参照）。

	設定範囲	
	工場出荷時設定 (9段階の火力 レベル)	拡張設定 (17段階の火 力レベル)
バターを溶かす チョコレートを溶かす ゼラチンを溶かす	1-2	1-2.
少量の液体を温める くつつきやすい食材を保温する ご飯やおかゆを炊く 冷凍野菜のかたまりを解凍する	2-4	2-3.
液体または半固形の食材を温める 果物を蒸す じゃがいもを煮る（フタ付き鍋）	4-6	3.-5.
卵焼きや焦げ目の少ない目玉焼きを作る パテを軽く揚げる 魚や野菜を蒸す 団子や乾燥豆を調理する 冷凍食品を解凍して加熱する ソースを煮詰める（オランダーズなど）	5-7	4.-7.
肉、魚、ソーセージ、卵などを軽く炒める（脂肪分を熱しすぎない）	6-8	6-7.
ポテトフリッターやパンケーキなどを調理する	7-8	7-8.
大量の水を沸騰させる 沸騰させる 大量の肉をさっと焼き上げる	9	8.-9

これらの設定はあくまでも参考としてください。IHコイルの火力は、鍋の大きさや材質によって異なります。そのため、鍋に合わせて設定を若干調整する必要がある場合があります。本製品を使用していくうちに、ご使用の鍋に最適な設定が分かるようになります。使い慣れない新しい鍋を使用する場合は、記載の火力レベルより1段階下を設定してみてください。

操作

本製品の使用

本製品には、指の接触に反応する電子センサーコントロールが装備されています。安全上の理由から、本製品の電源を入れるために、オン/オフ①センサーを他のセンサーよりも少し長くタッチする必要があります。

センサーコントロールが作動するたびに音が鳴ります。

電源がオフの状態では、印字されたオン/オフ①アイコンのみが見えます。電源をオンにすると、より多くのセンサーが点灯します。

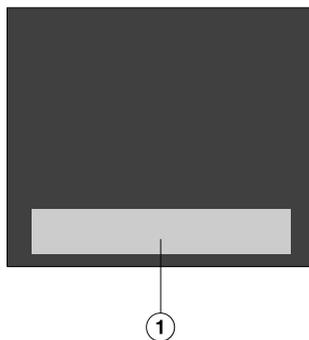
⚠ 汚れたり覆われたりしているセンサーコントロールによる誤動作のおそれがあります。

センサーコントロールが汚れていたり覆われていると、反応しない、機能を作動させる、機器を自動的にオフにするといったことが起こる場合があります（「安全性機能」-「安全のためのスイッチオフ機能」参照）。センサーコントロール/表示ランプに熱い調理器具を置くと、下の電子ユニットが損傷するおそれがあります。

センサーボタンと表示ランプを清潔に保ってください。

センサーボタンや表示ランプの上に物を置かないでください。

センサーコントロールや表示ランプの上に熱い調理器具を置かないでください。



① センサーコントロールと表示ランプ

 熱くなり過ぎた食材による火災の危険性。

食べ物を放置すると、熱くなりすぎて引火することがあります。

使用中は本製品のそばを離れないでください。

IHクッキングヒーターは、従来型のコンロよりも加熱時間がはるかに短いのでご注意ください。

電源を入れる

- センサー①を少し長めに押します。

他のセンサーが光ります。

そのまま何もしない場合、安全上の理由から、本体の電源は数秒後に自動的にオフになります。

火力レベルを設定する

「鍋の常時検知」は標準設定では有効となっています（「プログラミング」参照）。本製品をオンにし調理ゾーンの一つに鍋を置くと、その調理ゾーンの数字キーパッドのすべてのセンサーが点灯します。

- 使いたい調理ゾーンに鍋を置きます。
- 設定したい火力レベルの数字センサーをタッチします。

調理ゾーンをオフにする

- 調理ゾーンをオフにするには、その調理ゾーンの0センサーをタッチします。
- 本製品とすべての調理ゾーンをオフにするには、①センサーにタッチします。

余熱表示

調理ゾーンがまだ熱い場合は、ゾーンをオフした後に余熱表示が点灯します。温度に応じて、火力レベル1、2、3の上に点が表示されません。

余熱表示の点は、調理ゾーンが冷めるにつれ、順番に消えていきます。調理ゾーンが安全に触れる温度まで下がったら、最後の点が消えます。

 熱い調理ゾーンによるやけどのおそれ。

調理ゾーンは使用後でもまだ熱くなっています。

余熱表示が示されているうちは、調理ゾーンに触らないでください。

操作

火力レベル設定 - 拡張火力レベル設定

- 2つの数字センサーの間にある数字キーパッドにタッチします。

中間レベルの両隣の数字が、他の数字よりも明るく点灯します。

例：

火力レベル 7. を設定した場合、数字 7 と 8 が他の数字より明るくなります。

PowerFlex調理領域

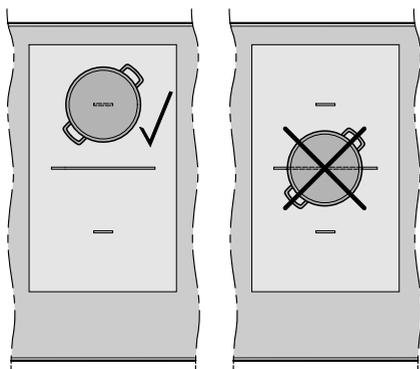
複数のPowerFlex（パワーフレックス）調理ゾーンにまたがる十分な大きさの調理器具を置くと、ゾーンが自動的に組み合わせられてPowerFlex調理領域が形成されます（「各部の名称」 - 「IHクッキングヒーター」参照）。リンクされた調理領域の設定は、手前または左のPowerFlex調理ゾーンの数字キーパッドによって制御されます（モデルによります）。PowerFlex調理ゾーンは、手動でオンとオフを切り替えることもできます：

- ■ センサーコントロールにタッチします。

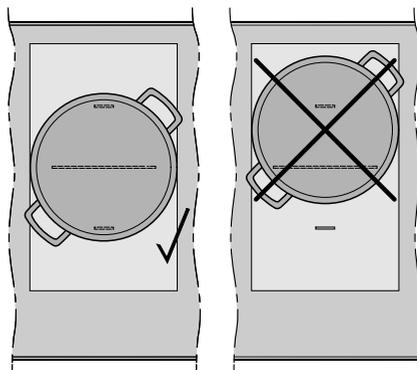
調理器具の位置を決める

調理器具のサイズと対応する位置については、お使いのクッキングヒーターモデルの調理ゾーンデータを参照してください（「各部の名称」 - 「調理ゾーン」参照）。

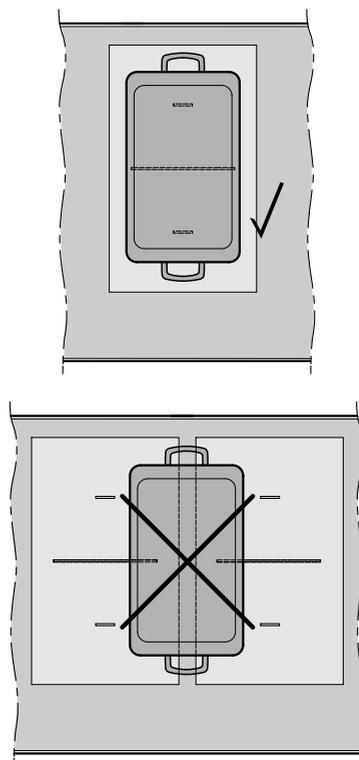
PowerFlex調理ゾーン



PowerFlex調理領域 (鍋)



PowerFlex調理領域 (ベーキングディッシュ)



操作

自動加熱

自動加熱が有効の場合、調理ゾーンは最も高い設定で自動的にオンになり、その後、選択した連続調理火力レベルに切り替わります。加熱時間は、選択した連続調理火力レベルによって異なります（次頁の表を参照）。

自動加熱を有効にする

- 希望の連続調理設定のセンサーを、音が鳴ってセンサーが点滅し始めるまで長押しします。

加熱時間（図を参照）の間は、設定した連続調理火力レベルが点滅します。

火力レベルが拡張されている場合（「プログラミング」参照）は、拡張火力レベル設定が選択されていると、中間火力レベルの前後の火力レベルのセンサーが点滅します。

連続調理火力レベル設定を変更すると、自動加熱が無効になります。

自動加熱を無効にする

- 連続調理火力レベルのセンサーをタッチします。

または

- 別の火力レベルを設定します。

連続調理設定*	加熱時間 [分：秒]
1	約0:15
1.	約0:15
2	約0:15
2.	約0:15
3	約0:25
3.	約0:25
4	約0:50
4.	約0:50
5	約2:00
5.	約5:50
6	約5:50
6.	約2:50
7	約2:50
7.	約2:50
8	約2:50
8.	約2:50
9	-

* 数字の後に点のある連続調理火力レベルは、火力レベルが拡張されている場合にのみ、利用できます（「プログラミング」参照）。

Booster

調理ゾーンにはTwinBooster（ツインブースター）が搭載されています。

Booster機能を有効にすると、火力が一時的に上げられ大量の液体や食品を短時間で加熱することができます（パスタを茹でるためのお湯を沸かす場合など）。火力のブーストは最大15分間有効です。

Booster機能が有効になると、アクティブな調理ゾーンの設定が変更される場合があります。「IH機能について」-「電力管理」を参照してください。

Booster機能を同時に使う場合は、最大2つの調理ゾーンまたは1つのPowerFlex領域で使うことができます。

Booster機能をオンにしたときの状態によって、終了後の火力レベルが決まります：

- 火力レベルが選択されていない状態でBooster機能をオンにした場合、Booster時間終了時、あるいはその前にBooster機能をオフにした時に、調理ゾーンは自動的にレベル9に戻ります。
- 火力レベルが選択された状態でBooster機能をオンにした場合、Booster時間終了時、あるいはその前にBooster機能をオフにした時に、調理ゾーンは選択していた火力レベルに自動的に戻ります。

TwinBoosterを有効にする

レベル 1

- 使いたい調理ゾーンに調理器具を置きます。
- 必要に応じて火力レベルを選択します。
- **B** センサーコントロールにタッチします。

TwinBoosterレベル 1 の表示ランプ **●** が点灯します。

レベル 2

- 使いたい調理ゾーンに調理器具を置きます。
- 必要に応じて火力レベルを選択します。
- **B** センサーコントロールを2回タッチします。

TwinBoosterレベル 2 の表示ランプ **●●** が点灯します。

TwinBoosterを無効にする

- **B** センサーコントロールを、表示ランプが消えるまで繰り返し押します。

または

- 別の火力レベルを設定します。

操作

保温

この機能は調理したばかりの食品（熱い食品）を保温するためのものです。冷めてしまった食品を再加熱するためのものではありません。

食品の保温時間は最大2時間です。

- 保温には鍋やフライパンのみを使用してください。フタをしてください。
- しっかりした食品や粘り気のある食品（マッシュポテト、シチュー）は時々かき混ぜてください。
- 食品の栄養素は調理すると減り、保温中にも減り続けます。保温時間が長いほど、失われる栄養素も多くなります。食品の保温時間は、できるだけ短くすることを心がけてください。

保温機能を有効/無効にする

- 使いたい調理ゾーンの  センサーをタッチします。

保温温度

保温温度85° Cが標準として設定されています。保温温度は変更できます（「プログラミン」参照）。

用途	温度° C
チョコレートを溶かす	50-55
固形の食材や濃い液体を保温する	65-75
透明なスープを保温する	80-90

食材を過度に高温で保温すると、調理結果に悪影響を与える場合があります。食材は変色し、だめになる場合もあります。

タイマーを使いたい場合は、電源をオンにする必要があります。

タイマーは、次の2つの機能に使用できます。

- キッチンタイマーの設定
- 調理ゾーンの自動スイッチオフ機能

これらの機能は同時に使用できます。

時間は1分 (0:01) から9時間59分 (9:59) まで設定できます。

59分までは分 (00:59) で表示され、60分を超える場合は時間と分で表示されます。入力は時間、10分単位、分単位の順に行います。

例：

59分 = 0:59 時間、

入力方法：5-9

80分 = 1:20時間、

入力方法：1-2-0

最初の数字を入力すると、タイマー表示部が点灯します。2番目の数字を入力すると、最初の数字が左に移動します。3番目の数字を入力すると、最初と2番目の数字が左に移動します。

キッチンタイマー

キッチンタイマーは、手前の調理ゾーンの数字キーパッドを使って設定します。

キッチンタイマーを設定する

- △ センサーコントロールをタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 必要な時間を設定します。

△ センサーコントロールをタッチするか、10秒待ってキッチンタイマーを開始します。

キッチンタイマーの時間を変更する

- △ センサーコントロールをタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 必要な時間を設定します。

キッチンタイマーの時間を削除する

- △ センサーコントロールをタッチします。

- 数字キーパッドの0をタッチします。

タイマー

自動スイッチオフ

調理ゾーンが自動的にオフになるまでの時間を設定できます。この機能はすべての調理ゾーンで同時に使用することができます。

プログラムされた時間が有効な最大稼働時間よりも長い場合、安全のためのスイッチオフ機能により調理ゾーンがオフになります（「安全性機能」-「安全のためのスイッチオフ機能」参照）。

スイッチオフ時間は、自動スイッチオフさせた各調理ゾーンの数字キーパッドで設定します。

スイッチオフ時間を設定する

- 使用する調理ゾーンの火力レベルを選択します。

- ⊕ センサーコントロールをタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 必要な時間を設定します。

- ⊕ センサーコントロールをタッチするか、10秒待ってスイッチオフ時間を開始します。

自動スイッチオフ表示ランプが点滅します。

- 別の調理ゾーンのスイッチオフ時間を設定するには、上記と同じ手順に従います。

複数のスイッチオフ時間を設定している場合は、最も短い残り時間が表示され、対応する表示ランプが点滅します。他の表示ランプは点灯します。

- バックグラウンドでカウントダウンしている別の調理ゾーンの残り時間を表示したい場合は、その調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで ⊕ センサーコントロールを繰り返しタッチします。

スイッチオフ時間を変更する

- 必要な調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、⊕ センサーコントロールを繰り返しタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 必要な時間を設定します。

スイッチオフ時間を削除する

- 必要な調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、⊕ センサーコントロールを繰り返しタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 数字キーパッドの 0 のセンサーコントロールをタッチします。

両方のタイマー機能を同時に使用する

両方の機能を同時に使用すると、常に短い方の時間が表示されます。△ センサーコントロール（キッチンタイマー）または最短時間の調理ゾーンの表示ランプが点滅します。

- バックグラウンドでカウントダウンされている残り時間を表示させたい場合は、△ または ⊕ センサーコントロールをタッチします。

- スイッチオフ時間が複数の調理ゾーンに対してプログラムされている場合は、表示させたい調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで ⊕ センサーコントロールを繰り返しタッチします。

Stop & Go

Stop & Go 機能が有効になると、使用中のすべての調理ゾーンは火力レベル1まで低下します。

調理ゾーンの火力レベルとタイマーの設定は変更できず、クッキングヒーターをオフにすることしかできません。キッチンタイマー、スイッチオフ、Booster、自動加熱の各残り時間は減り続けます。

Stop & Go 機能が無効になると、調理ゾーンは前に選択した火力レベルで稼働します。

この機能が1時間以内に解除されないと、クッキングヒーターはオフになります。

有効/無効にする

- II/▶ センサーコントロールをタッチします。

煮こぼれのおそれがある場合にこの機能をお使いください。

直前設定の復帰

使用中に本製品の電源が意図せずオフになった場合は、この機能を使ってすべての設定を元に戻すことができます。この機能を使うには、本製品がオフになってから10秒以内に電源を再びオンにする必要があります。

- 再度電源をオンにします。

元々設定していた火力レベルが点滅します。

- 点滅している火力レベルの一つにすぐにタッチします。

すべての調理ゾーンとタイマーは、元々選択してあった設定で作動を再開します。

その他の機能

ワイプロテクション

例えば汚れを拭き取りたいときなどに、クッキングヒーターのセンサーを20秒ロックすることができます。①はロックされません。

有効にする

-  センサーをタッチします。

タイマー表示部で時間がカウントダウンされます。

無効にする

- タイマー表示部が消えるまで  センサーをタッチします。

デモモード

この機能により、本製品を加熱することなくシヨールームで実演することができます。

有効/無効にする

- クッキングヒーターの電源をオンにします。
- 数字キーパッドの0のセンサーコントロールにタッチします。
- 0と2のセンサーを同時に6秒間押しします。

タイマー表示部で、*dE* が *On* (デモモード有効) または *OFF* (デモモード無効) と交互に数秒間点滅します。

クッキングヒーターのデータを表示する

クッキングヒーターの型式番号とソフトウェアバージョンを表示できます。調理ゾーンに鍋やフライパンを置かないでください。

型式番号/製造番号

- クッキングヒーターの電源をオンにします。
- 数字キーパッドの0のセンサーコントロールにタッチします。
- 0と4のセンサーコントロールを同時に押します。

両番号は、タイマー表示部に順番に、ハイフンで区切られて表示されます。

例：1234 (型式番号KM 1234) -
123456789 (製造番号)

ソフトウェアバージョン

- クッキングヒーターの電源をオンにします。
- 数字キーパッドの0のセンサーコントロールにタッチします。
- 0と3のセンサーコントロールを同時に押します。

タイマー表示部に数字が表示されます。

例：2:00 = ソフトウェアバージョン2.00

システムロック/セーフティロック

本製品はシステムロックとセーフティロックを備えており、誤って本体や調理ゾーンがオンにされたり、設定が変更されたりするのを防ぎます。

システムロックは電源をオフにすると作動します。システムロックが作動すると、電源をオンにしたり、タイマーを使用することができなくなります。キッチンタイマーが設定されている場合、時間はカウントダウンを続けます。本製品は、システムロックを手動でしか有効にできないようにプログラムされています。電源をオフにしてから5分後に自動的に作動するようにシステムロックを設定することができます（「プログラミング」参照）。

セーフティロックは電源をオンにすると作動します。セーフティロックが作動すると、機器は一定の条件でしか操作できません：

- 調理ゾーンと本体は、オフにすることしかできません。
- 設定されたキッチンタイマーの時間は変更できません。

システムロックまたはセーフティロックが作動している間に利用できないセンサーコントロールにタッチすると、*LDC* が数秒間タイマー表示部に表示され、音が鳴ります。

システムロックを有効にする

- ① センサーを6秒間押します。

秒数はタイマー表示部でカウントダウンされます。この時間が経過すると、*LDC* がタイマー表示部に表示されます。システムロックが有効になります。

システムロックを無効にする

- ① センサーを6秒間押します。

LDC がタイマー表示部で短く表示され、秒数がカウントダウンされます。この時間が経過すると、システムロックが無効になります。

セーフティロックを有効にする

- ④ と II▶ のセンサーを同時に6秒間押します。

秒数はタイマー表示部でカウントダウンされません。この時間が経過すると、*LDC* がタイマー表示部に表示されます。セーフティロックが有効になります。

セーフティロックを無効にする

- ④ と II▶ のセンサーを同時に6秒間押します。

LDC がタイマー表示部で短く表示され、秒数がカウントダウンされます。この時間が経過すると、ロック機能が無効になります。

安全性機能

安全のためのスイッチオフ機能

センサーコントロールが覆われている

1つまたは複数のセンサーが10秒以上覆われた場合、例えば、指が触れていたり、煮こぼれ、または鍋つかみやふきんなどで隠れた場合、本製品は自動的に電源が切れます。〔センサーコントロールの上で①が短時間点滅し、音が鳴ります。

〔物を除去するまたはクッキングヒーターをきれいにすると、表示は消えてクッキングヒーターが再び使用できる状態になります。

最大稼動時間を超過した場合の切り忘れ防止機能

切り忘れ防止機能は、調理ゾーンが異常に長時間加熱されると自動的に作動します。最大稼動時間は、選択した火力レベルによって異なります。時間が超過すると、調理ゾーンがオフになり、余熱表示が出ます。調理ゾーンのオンとオフを再び切り替えると、再び稼動できます。

本製品の安全設定は、出荷時に安全レベル0にされています。必要に応じて、最大稼動時間を短くし、より安全に設定することができます（次頁の表を参照）。

火力レベル*	最大稼動時間 [時:分]		
	安全レベル		
	0**	1	2
1	10:00	8:00	5:00
1.	10:00	7:00	4:00
2/2.	5:00	4:00	3:00
3/3.	5:00	3:30	2:00
4/4.	4:00	2:00	1:30
5/5.	4:00	1:30	1:00
6/6.	4:00	1:00	0:30
7/7.	4:00	0:42	0:24
8	4:00	0:30	0:20
8.	4:00	0:30	0:18
9	1:00	0:24	0:10

* 数字の後に点のある火力レベルは、火力レベル範囲が拡張されている場合にのみ、利用できます（「プログラミング」参照）。

** 工場出荷時設定

過熱防止機能

電子回路のすべての誘導コイルとヒートシンクには、過熱防止機能が搭載されています。誘導コイルやヒートシンクが熱くなりすぎる前に、以下のいずれかの方法で過熱防止機能が作動します。

誘導コイル

- Booster機能を使用中の場合はオフになります。
- 設定された火力レベルが下げられます。
- 調理ゾーンが自動的にオフになります。タイマー表示部でErr と 044 が交互に点滅します。

エラーコードが消えれば、通常通りに調理ゾーンを使用できるようになります。

ヒートシンク

- Booster機能を使用中の場合はオフになります。
- 設定された火力レベルが下げられます。
- 調理ゾーンが自動的にオフになります。

影響を受ける調理ゾーンが再度通常通り使用できるようになるのは、冷却装置が安全なレベルの温度まで冷めてからです。

過熱防止機能は、以下の状況で作動する可能性があります。

- 加熱している調理器具が空である。
- 油や脂肪が高い火力レベルで加熱されている。
- 本製品の下の換気が不十分である。
- 熱くなっている調理ゾーンが停電後にオンになった。

原因を解決したにもかかわらず、過熱防止機能が再び作動してしまう場合は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。

プログラミング

必要に応じてクッキングヒーターのプログラミングを変更できます。いくつかの設定は連続で変更できます。

プログラミングモードにアクセスすると、PC アイコンが表示され、⊕ がタイマー表示部に表示されます。数秒後、タイマー表示部に P:01 (プログラム01) が C:01 (コード) と交互に点滅します。

プログラミングの変更

プログラミングモードにアクセスする

II▶ センサーは、① センサーの左側約1 cm に配置されています。

- **本製品の電源がオフの状態**で、⊕アイコンと PC がタイマー表示部に表示されるまで、① と II▶ センサーを同時に押し続けます。

プログラムを設定する

2桁のプログラム番号の場合は、最初に10の位を設定します。

- プログラムが表示されている間 (例: P:01)、希望するプログラム番号が表示されるまで ⊕ センサーを繰り返しタッチするか、数字キーパッドの適切な数字をタッチします。

コードを設定する

- コードが表示されている間 (例えば C:01)、希望するコード番号が表示されるまで ⊕ センサーを繰り返しタッチするか、数字キーパッドの適切な数字をタッチします。

設定を保存する

- プログラムが表示されている間 (例: P:01) ① センサーを、表示ランプが消えるまで繰り返しタッチします。

設定を保存しないようにする

- コードが表示されている間 (例: C:01) ① センサーを、表示ランプが消えるまで繰り返しタッチします。

プログラミング

プログラム ¹		コード ²	設定
P:01	デモモード	C:00	デモモード オフ
		C:01	デモモード オン ³
P:03	工場出荷時設定	C:00	工場出荷時設定に戻さず
		C:01	工場出荷時設定に戻す
P:04	調理ゾーンの火力レベル数	C:00	9段階の火力レベル + Booster
		C:01	17段階の火力レベル + Booster ⁴
P:06	センサーコントロールにタッチした時の音	C:00	オフ ⁵
		C:01	小
		C:02	中
		C:03	大
P:07	タイマーのブザー	C:00	オフ
		C:01	小
		C:02	中
		C:03	大
P:08	システムロック	C:00	手動でのみシステムロックを有効にする
		C:01	自動でシステムロックを有効にする
P:09	最大稼働時間	C:00	安全レベル 0
		C:01	安全レベル 1
		C:02	安全レベル 2

プログラミング

プログラム ¹		コード ²	設定
P:10	WiFi登録	C:00	有効でない/無効
		C:01	有効だが未設定
		C:02	有効で設定済み（選択不可。接続が成功したかどうかを表示）
		C:03	WPSプッシュボタンで接続可能
		C:04	WiFiがデフォルト (C:00) にリセット
		C:05	Mieleアプリなしでクッキングヒーターとレンジフード間の WiFi 直接接続 (Con@ctivity 3.0) (日本国内未対応)
P:12	センサーコントロールの反応速度	C:00	遅い
		C:01	標準
		C:02	速い
P:15	鍋の常時検知	C:00	鍋の常時検知 オフ
		C:01	鍋の常時検知 オン
P:25	保温温度	C:00	50 ° C
		C:01	55 ° C
		C:02	60 ° C
		C:03	65 ° C
		C:04	70 ° C
		C:05	75 ° C
		C:06	80 ° C
		C:07	85 ° C
		C:08	90 ° C

¹ このリストにないプログラムは割り当てがありません。

² 太字は工場出荷時設定コードです。

³ 電源を入れると、**dE** が数秒間タイマー表示部に表示されます。

⁴ 説明文や表の中で、拡張火力レベルは数字の後に点がついて記載されています。

⁵ オン/オフセンサーコントロールの操作音はオフにできません。

 熱い調理ゾーンによるやけどのおそれ。

調理ゾーンは使用後もまだ熱くなっています。

電源を切ります。

クッキングヒーターを掃除する前に、調理ゾーンを冷ましてください。

 湿気の侵入による破損のおそれ。

スチームクリーナーからの蒸気が通電している電気部品に到達し、ショートを引き起こす可能性があります。

本製品の掃除には、スチームクリーナーを使用しないでください。

不適切な洗剤を使用すると、表面の変色または損傷するおそれがあります。表面は傷つきやすくなっています。

洗剤の残留物はすべてすぐに除去してください。

研磨剤の入ったスポンジや洗剤は絶対に使用しないでください。

清掃する前に、クッキングヒーターを冷ましてください。

- 使用後に毎回清掃してください。
- カルキの付着を避けるため、水で清掃した後にしっかり拭いて乾かしてください。

不適切な洗剤

本製品表面の損傷を防ぐために、次の洗剤は使用しないでください。

- 食器用洗剤
- 酸化ナトリウム、アルカリ、アンモニア、酸、塩化物を含有するクリーナー
- カルキ除去剤を含むクリーナー
- しみまたはサビ落し剤
- 粉またはクリーム状の研磨剤
- 溶剤を含む洗剤
- 食器洗い機用クリーナー
- オープン用スプレー
- ガラス用クリーナー
- ポット用のたわしのような硬いブラシやスポンジ、研磨剤をつけて使用したことがあるブラシやスポンジなど
- メラミン製スポンジ

清掃とお手入れ

セラミックガラスの表面の掃除

 尖った物による損傷のおそれ。クッキングヒーターとキッチンカウンターとの間のシールが損傷する可能性があります。セラミック面とフレームの間のシールが損傷する可能性があります。掃除に尖った物を使わないでください。

食器用洗剤を使用してすべての汚れや残留物を除去できるわけではありません。目に見えない膜が張り、ガラスセラミックの表面が変色するおそれがあります。この変色を除去することはできません。専用のセラミックガラス用クリーナーでセラミックの表面を定期的に掃除してください。

- 軽い汚れは湿った布で除去し、しつこい汚れはガラスに適したシールド付きスクレーパーで除去します。
- 次に、ミーレのセラミック・ステンレスクッキングヒーター用クリーナー（「アクセサリーと洗剤」参照）や市販のガラスセラミッククリーナーをキッチンペーパーやきれいな布に塗布して、セラミックガラス面を掃除します。本体がまだ熱いうちにクリーナーを使用すると染みになるおそれがあるため、冷めるまでお待ち下さい。クリーナーのメーカーの指示に従ってください。
- 最後に湿った布でガラスセラミックの表面を拭き、きれいな柔らかい乾いた布で乾かします。

表面にクリーナーが残っていると、次に使用する際に焦げ付いてセラミックガラスの表面を損傷することがあります。クリーナーの残留物をすべて落とすようにしてください。

- カルキ、水、アルミニウムの残留物（金属のような斑点）による**しみ**は、ミーレのセラミック・ステンレスクッキングヒーター用クリーナーで落とすことができます。

 熱い調理ゾーンによるやけどのおそれ。

調理ゾーンは使用中、熱くなります。シールド付きスクレーパーで熱いセラミックガラスの表面から砂糖、プラスチック、またはアルミホイルの残留物を除去する際は、手袋などを着用してください。

- 使用中に**砂糖、プラスチック、またはアルミホイル**が熱いセラミックの表面に落ちた場合は、電源をオフにしてください。
- その後**すぐに**ガラスに適したスクレーパーを使用して、まだ熱いうちにこれらの残留物をていねいにこすり落としてください。
- セラミックの表面が冷めてから前述の方法で掃除をしてください。

こんなとき、どうしたらいい？

日常の使用で発生する本体の性能に関する小さな不具合などは、間違った操作が原因の場合もあります。

以下のトラブルシューティングガイドにより、故障の原因を見つけ、直すことが出来る場合があります。ただし、次の注意点には十分ご留意ください。修理およびその他の作業を非専門技術者が行った場合、使用中に大きな危険を引き起こす可能性があります。電気機器の修理は、必ず地域および国の安全基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければいけません。

ディスプレイのメッセージ

問題	原因および対策
タイマー表示部で <i>Err</i> と <i>30</i> が交互に点滅し、ブザー音が鳴る。	クッキングヒーターが正しく接続されていません。 ■ コンセントからクッキングヒーターの電源プラグを抜いてください。 ■ ミーレ・カスタマーサービスにお問い合わせください。本製品は、別刷「設置・施工手順書」に従って電源に接続する必要があります。
本体の電源オン時や、センサーをタッチした時に、 <i>L0C</i> が数秒間表示される。	システムロックまたはセーフティロックが有効になっています。 ■ システムロックまたはセーフティロックを無効にしてください（「システムロック/セーフティロック」参照）。
本製品の電源をオンにすると、 <i>dE</i> が短時間表示される。調理ゾーンが加熱されない。	デモモードになっています。 ■ いずれかの数字ディスプレイの 0 のセンサーコントロールをタッチします。 ■ タイマー表示部で <i>dE</i> と <i>OFF</i> が交互に点滅するまで、0 と 2 のセンサーコントロールに同時にタッチします。
クッキングヒーターが自動的にオフになる。本製品をオンに戻すと、 <i>ε</i> がオン/オフセンサーコントロール ① の上に表示される。	センサーコントロールが覆われています（例：指で触っていたり、食べ物物が吹きこぼれていたり、物がかぶさっていたりする）。 ■ 汚れをきれいにし、物があったら取り除きます（「安全性機能」-「スイッチオフ」参照）。
タイマーディスプレイで <i>Err</i> と <i>044</i> が交互に点滅する。	過熱防止機能が作動しています。 ■ 「安全性機能」-「過熱防止機能」を参照してください。
タイマーディスプレイで、 <i>Err</i> が、 <i>047</i> 、 <i>048</i> 、 <i>049</i> のいずれかと交互に点滅する。	ファンが塞がれているか、故障しています。 ■ 物によって塞がれていないか確認します。 ■ 塞いでいる物を取り除きます。 ■ このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、ミーレ・カスタマーサービスまでご連絡ください。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	原因および対策
タイマーディスプレイで、E-0 などの E-数字が、120、121、122、123、124、125、126、127 のいずれかと交互に点滅する。	ファンが塞がれているか、故障しています。 <ul style="list-style-type: none">■ 物によって塞がれていないか確認します。■ 塞いでいる物を取り除きます。■ このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、ミーレ・カスタマーサービスまでご連絡ください。
この表に記載されていないメッセージがタイマーディスプレイに表示される。	電子モジュールのエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 約1分間、クッキングヒーターへの電源供給を遮断してください。■ 電源を接続しなおしても問題が生じる場合は、ミーレ・カスタマーサービスまでご連絡ください。

こんなとき、どうしたらいい？

予期しない動作

問題	原因および対策
選択した火力レベルが点滅する。	調理ゾーンに鍋がないか、使用に適さない鍋が置かれています。 ■ 適切な鍋を使用してください（「IH機能について」 - 「鍋」参照）。
火力レベル 9 は、リンクされている調理ゾーンも火力レベル 9 を設定すると、自動的に低下します。	両ゾーンを火力レベル 9 で稼働させると、2 つのゾーンで許容される最大火力を超えます。 ■ 別の調理ゾーンを使用してください。
調理ゾーンが自動でオフになる。	稼働時間が長すぎました。 ■ 調理ゾーンの電源を入れ直せば、再度使用できます。（「安全のためのスイッチオフ」を参照）。
調理ゾーンが、選択中の火力設定で通常通り機能しない。	過熱防止機能が作動しています。 ■ 「安全機能」を参照してください。
調理ゾーンまたは本体全体の電源が自動的にオフになる。	過熱防止機能が作動しています。 ■ 「安全機能」を参照してください。
Boosterが自動で無効になるのが早い。	過熱防止機能が作動しています。 ■ 「安全機能」を参照してください。

こんなとき、どうしたらいい？

期待通りの結果にならない

問題	原因および対策
自動加熱機能がオンの時、鍋の中身が加熱されない。	鍋の中身が多過ぎます。 ■ 最高の火力レベルで調理を初め、後から手で火力レベルを下げてください。
	鍋の伝導率が悪い。 ■ 適切に熱を伝導する別の鍋またはフライパンを使用します。

一般的な問題または技術的な障害

問題	原因および対策
本体や調理ゾーンの電源が入らない。	電気が本体にきていません。 ■ ヒューズが短絡しているかどうかを確認します。電気技術者またはミーレのサービスまでご連絡ください（定格消費電力については、型式表示シール参照）。
	技術的な障害が発生している可能性があります。 ■ 以下のいずれかの方法で1分程度、本体から電源を遮断してください。 - コンセントからプラグを抜きます。 - ブレーカーを落とします。 ■ 電源のブレーカーをリセットしても電源が入らないようであれば、資格を持つ電気技術者またはミーレのサービスまでご連絡ください。
新しい本体を使用中に臭いや蒸気が発生する。	金属部品には保護コーティングが施されています。本製品を初めて使用したときに臭いや蒸気が発生することがあります。誘導コイルの素材も、初めて作動したときに最初の数時間、臭いを発することがあります。臭いは使用のたびに減少し、やがて完全に消えます。発生する臭いや蒸気は、接続不良や本製品の故障を示すものではなく、健康に害を及ぼすものでもありません。
本製品の電源をオフにした後、動作音が聞こえる。	冷却ファンは、本製品が冷めるまで動作を続け、自動的に停止します。

ミーレは本製品で使用できる便利なアクセサリー用品や洗剤をご用意しています。

これらの製品は、ミーレオンラインショップでご注文いただけます。

ミーレ・カスタマーサービス（連絡先情報については裏表紙を参照）またはミーレ代理店にご注文いただくことも可能です。

調理器具

ミーレはさまざまな調理器具を提供しています。これらはすべて、ミーレ製機器の機能や寸法に合わせて最適化されています。各製品に関する詳細情報は、ミーレのウェブサイトを参照してください。

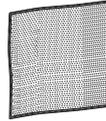
お手入れ用品

セラミックとステンレスクッキングヒーター用クリーナー、250 ml



頑固な汚れ、水アカ、アルミニウム残留物を除去します

マイクロファイバークロス



指紋や軽い汚れを除去します

設置

電源接続と設置



誤った接続による損傷のおそれがあります。

設置が誤っていると、本機器を損傷するおそれがあります。

本機器は有資格者のみが設置できます。



感電のおそれがあります。

主電源への誤った接続は、感電を引き起こすおそれがあります。

本機器を電源に接続できるのは、資格のある電気技術者のみです。



落下物による損傷のおそれ。

本製品の上でウォールキャビネットやレンジフードを取り付ける時は、クッキングヒーターを損傷しないように注意してください。

ウォールキャビネットとレンジフードはクッキングヒーターの設置前に取り付けます。

キッチンカウンター（または隣接するキッチンキャビネット）のベニヤまたはラミネートコーティングは、溶けたりゆがんだりしない100℃の耐熱接着剤で処置する必要があります。背面は耐熱材料でなければいけません。

本製品は冷蔵庫、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、食器洗い機、洗濯機、洗濯乾燥機、乾燥機の上に設置してはいけません。

本製品は、冷却ファンが内蔵されているものでない限り、オープンや調理器具の上に設置しないでください。

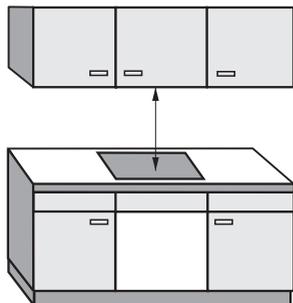
取り付け後は、何かが電源コードに接触することのないようにし、また、障害物がないようにしてください。

電源コードは、可動するキッチンキャビネット（引き出しなど）と接触したり、損傷を引き起こすような機械的な閉塞にさらされることがあってはいけません。

以下に記載されている安全な離隔距離に注意してください。

安全な離隔距離

クッキングヒーター上方の安全な離隔距離



レンジフードのメーカーによって指定された安全な離隔距離が、クッキングヒーターとその上のレンジフードの間で維持される必要があります。

可燃物（キャビネット、器具、レールなど）がクッキングヒーターの上に設置されている場合は、最小安全離隔距離**500 mm**を維持します。

安全な離隔距離の異なる複数の機器をレンジフードの下に一緒に設置する時は、その中で一番長い安全な離隔距離を守る必要があります。詳しくは「設置・施工手順書」を参照してください。

設置

クッキングヒーターの側面と背面までの安全な離隔距離

両側に十分なスペースを確保しながらクッキングヒーターを取り付けることをおすすめします。

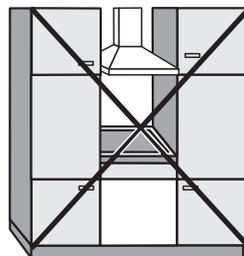
下に示す最小の離隔距離①を、クッキングヒーターの背面とトールユニットまたは壁の間で維持します。

下に示す最小の離隔距離②, ③を、トールユニットまたはクッキングヒーターの左または右の壁（反対側の最小離隔距離200 mm）の間で、維持します。

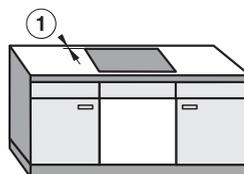
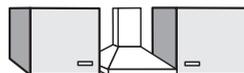
① キッチンカウンターの開口部の背面とキッチンカウンターの後端部間の最小離隔距離:
50 mm

② キッチンカウンターの開口部とキッチンカウンターの右の壁またはトールユニット間の最小離隔距離:
50 mm

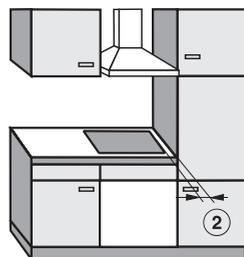
③ キッチンカウンターの開口部とキッチンカウンターの左の壁またはトールユニット間の最小離隔距離:
50 mm



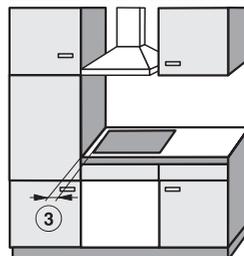
不可



推奨



推奨せず



推奨せず

本体下方の最低安全距離

本体の換気が十分に行われるよう、本体下側とオープン、棚、または引き出しとの間には最低安全距離を確保する必要があります。

本体下側との最低安全距離

- オープン上部から: 15 mm
- 棚上面から: 15 mm
- 引き出しの上端から: 5 mm
- 引き出しの底面から: 75 mm

底板

本製品の下に底板を取り付ける必要はありませんが、必要に応じて取り付けることができます。



側面図

- ① 前面
- ② 隙間、前面
- ③ 隙間、後面

クッキングヒーターの**換気**のため、前面側は前面壁と底板の間に 20 mm の隙間 ② が推奨されます。詳しくは、「設置・施工手順書」をご参照ください。

電源コード敷設のため、背面側はキャビネットと底板の間に 10 mm の隙間 ③ を設けてください。

設置

被覆材を追加した壁の近くに設置する場合の安全距離

熱による損傷を防ぐため、キッチンカウンターの開口部と被覆材の間で最小安全距離を維持します。

被覆材が可燃性材料（木材など）でできている場合、開口部と被覆材の間に50 mmの最小安全距離⑤を維持します。

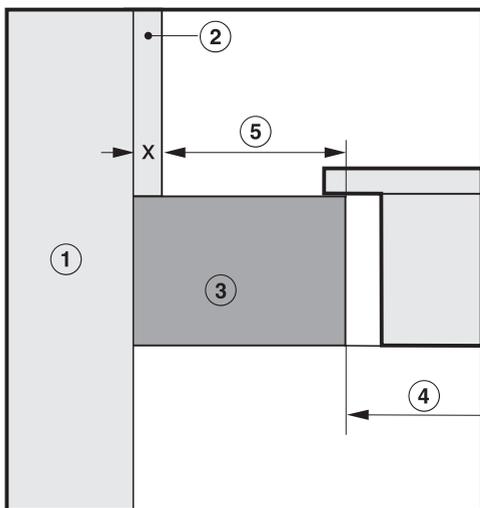
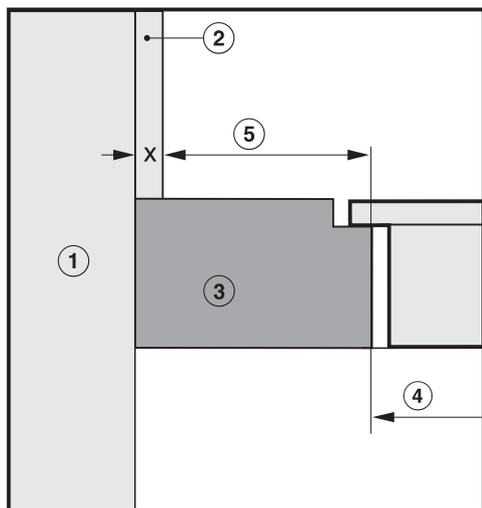
被覆材が不燃性材料（金属、天然石、セラミックタイルなど）でできている場合、開口部と被覆材の間の最小安全距離⑤は、被覆材の厚さより50 mm小さくなります。

例: 15 mmの被覆材

50 mm - 15 mm = 最小安全距離35 mm

フラッシュ設置されたクッキングヒーター

カウンター表面設置されたクッキングヒーター



- ① 石
- ② 被覆材の寸法 x = 被覆材の厚さ
- ③ キッチンカウンター
- ④ キッチンカウンターの開口部
- ⑤ 最小距離

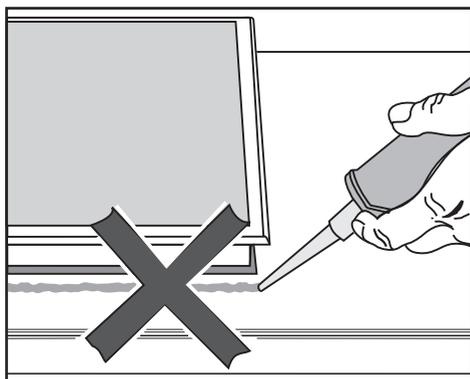
可燃性材料 50 mm

不燃性材料 50 mm - 寸法 x

設置上の注意

カウンター表面設置

本体とキッチンカウンターの間のシール



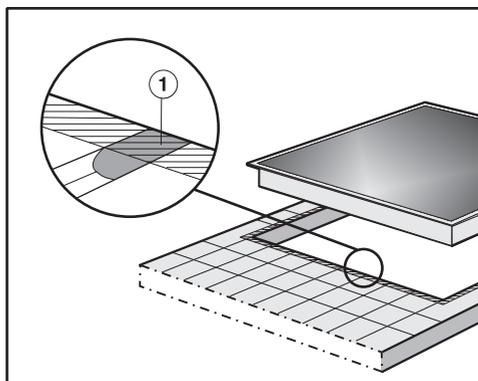
⚠ 誤った設置による損傷。

クッキングヒーターの下にシーリング材を使用すると、クッキングヒーターを点検修理のために取り外す必要がある場合に、クッキングヒーターとキッチンカウンターが損傷する可能性があります。

クッキングヒーターとキッチンカウンターの間にはシーリング材を使用しないでください。

キッチンカウンターのシールは、本体上部の縁の下にあるシールストリップだけで十分です。

タイルのキッチンカウンター



目地①とフレームの下の斜線部分は滑らかで均一でなければなりません。そのような状態になっていない場合、クッキングヒーターがキッチンカウンターにぴったり設置されず、機器下のシールストリップがカウンターとの間を十分にシーリングしません。

設置

フラッシュ設置

フラッシュ設置は、天然石（御影石、大理石）、硬質天板、およびタイル製のワークトップにのみ可能です。特定の機種は、ガラス製のワークトップへの設置にも適していません。これらは、「設置」-「設置寸法」-「フラッシュ設置」に適切な注記が記載されています。他の素材から作られたワークトップを使用する場合は、まずクッキングヒーターのフラッシュ設置に適しているかどうかワークトップメーカーにご確認ください。

本製品の下の空間の内部幅は、ワークトップ開口部の幅と同等以上にしてください（「設置・施工手順書」参照）。設置後に本体下から容易にアクセスでき、メンテナンスのために取り外せるようにするためです。設置後に本体下部に自由にアクセスできない場合は、クッキングヒーターを開口部から上方向に外すために、使用したシーリング材を全て取り除いてください。

天然石のワークトップ

クッキングヒーターを開口部に直接設置します。

硬質木製天板、タイル製、ガラス製のワークトップ

木製の当て木を使ってクッキングヒーターを開口部に固定します。当て木は別途用意する必要があります。本製品には付属していません。

シールストリップ

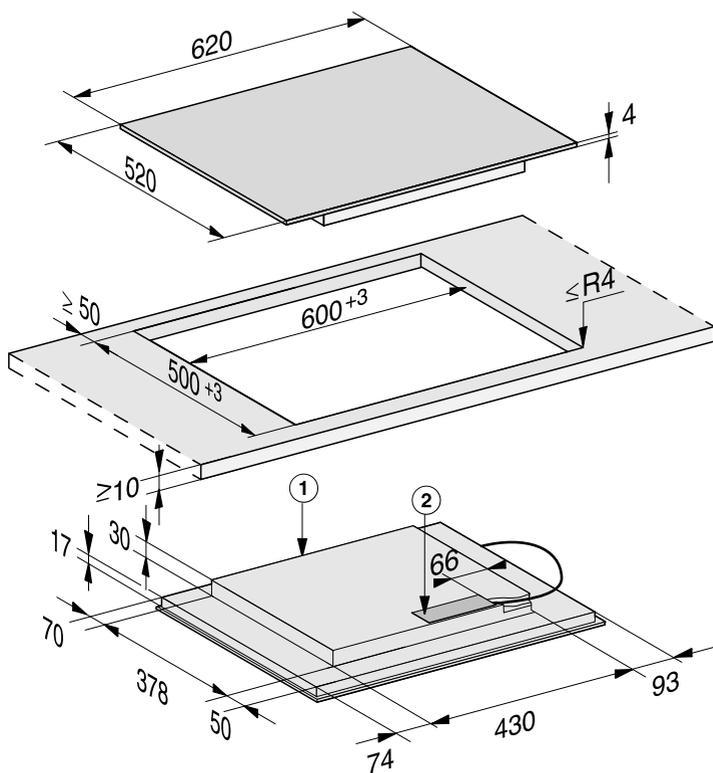
サービス目的で本製品を取り外した際に、本製品の縁下のシールストリップが破損する場合があります。

本製品を取り付け直す前に、必ずシールストリップを交換してください。

設置寸法 - カウンター表面設置

すべての寸法はmm表示です。

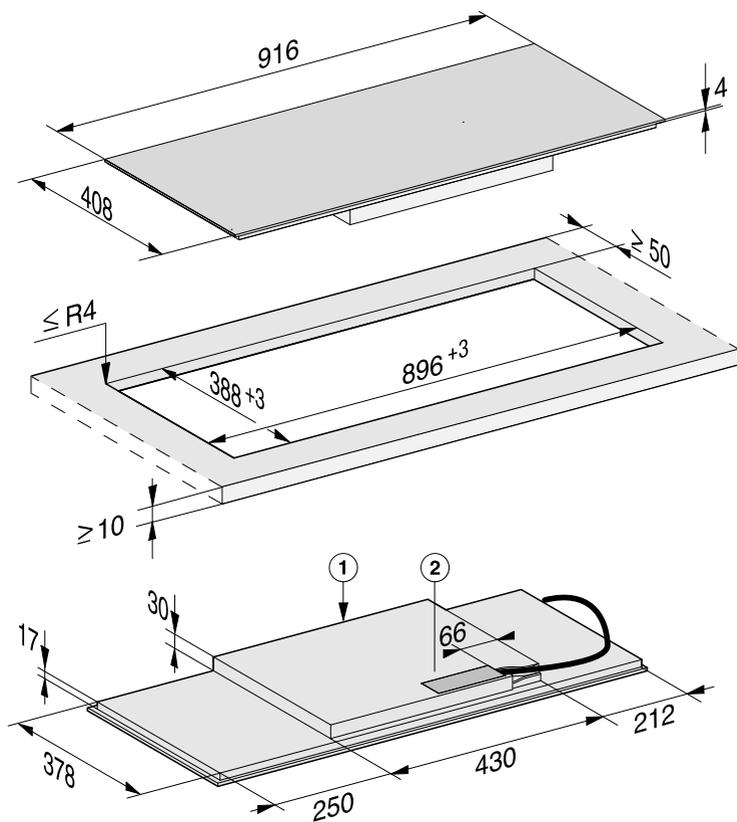
KM 7564 FL



- ① 前面
- ② 電源接続ボックス
電源コード (L = 1850 mm)

設置

KM 7684 FL



- ① 前面
- ② 電源接続ボックス
電源コード (L = 1850 mm)

カウンター表面設置

- ワークトップに開口部をつくります。必ず安全離隔距離を守ってください（別刷「設置・施工手順書」参照）。
- **木製のワークトップ** については、湿気による木材の膨張を防ぐため、切断面を特殊なニス、シリコーンシーリング材、または樹脂でシーリングをしてください。耐熱のシーリング材を使います。

シーリング材がワークトップの上部に接触しないようにしてください。

- 付属のシールストリップ（ラバーフォーム）を本体の縁の下に貼り付けます。貼り付ける際にテンションをかけないでください。

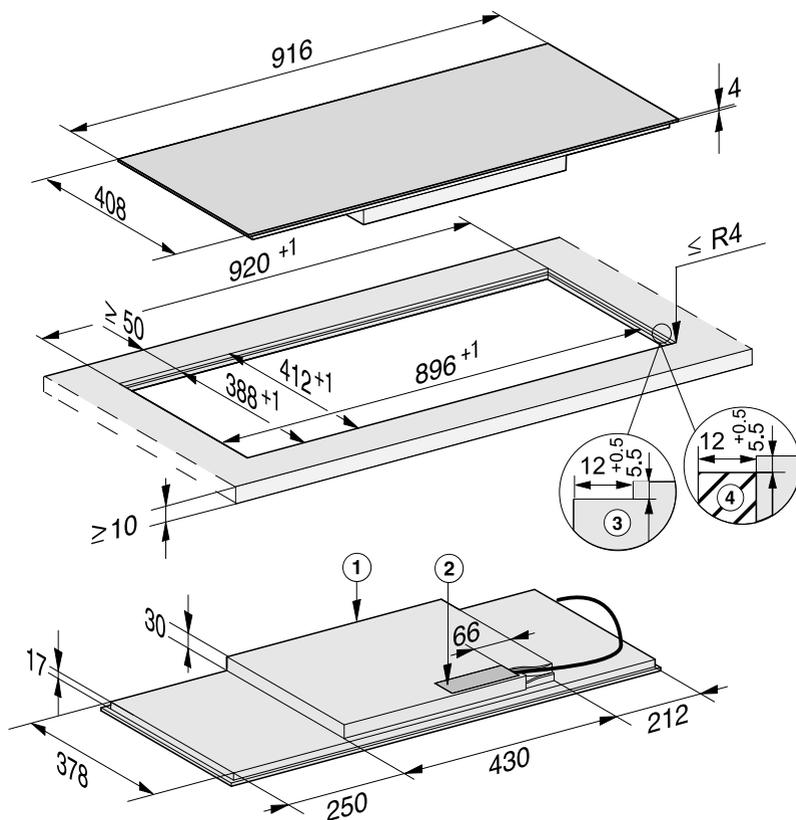
 誤った接続による損傷のおそれ。
ショートが起きると、本製品の電子回路が破損する場合があります。
電源コードを本製品に接続できるのは、有資格技術者のみです。

- 別刷「設置・施工手順書」に従って電気工事をした上で、電源コードを接続します。
- 本体の電源コードをワークトップの開口部に通します。
- 開口部に本体を配置します。これを行う際は、本体のシールがすべての側面でワークトップにぴったりくっつくようにしてください。これは周囲を確実にシーリングするために重要です。

シールがワークトップの角に上手く合わない場合は、角のアーチ（ $\leq R4$ ）をジグソーを使って慎重に調整し合わせてください。

- 本体を主電源に接続します。
- 本体の作動を確認します。

KM 7684 FL



- ① 前面
- ② 電源接続ボックス
電源コード (L = 1850 mm)
- ③ 段付き開口部、天然石製ワークトップ
- ④ 木製の当て木12 mm (付属していません)

設置

フラッシュ設置

- ワークトップに開口部をつくります。必ず最小の安全離隔距離を守ってください（「設置・施工手順書」参照）。
- 硬質木製天板、タイル製、ガラス製のワークトップ：
ワークトップの上面から 5,5 mm 下に木製フレームを固定します。

 誤った接続による損傷のおそれがあります。

ショートが起きると、本製品の電子回路が破損する場合があります。

電源コードを本製品に接続できるのは、有資格技術者のみです。

- 「設置・施工手順書」に従って電気工事をした上で、電気コードを接続します。
- 付属のシールストリップ（ラバーフォーム）を本体の縁の下に貼り付けます。貼り付ける際にテンションをかけないでください。
- 本体の電源コードをワークトップの開口部に通します。
- 開口部の中心にクッキングヒーターを配置します。

セラミックガラス面とワークトップの間隙は、少なくとも2 mm必要です。これは、クッキングヒーターをシーリングするために必要です。

- クッキングヒーターを主電源に接続します。
- 本体の作動を確認します。
- クッキングヒーターとワークトップの間隙間を、耐熱温度160 ° C以上のシリコーンシーリング材でシーリングします。

 不適切なシーリング材による破損のおそれ。

不適切なシーリング材は天然石を破損する場合があります。

天然石のワークトップや天然石のタイルには、天然石用に特別に配合されたシリコーンシーリング剤のみを使用してください。各メーカーの指示に従ってください。

電源接続

 誤った接続による損傷の危険。

許可されていない設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じるおそれがあります。

ミーレは、許可されていない設置、メンテナンス、修理、不十分または不完全な現場の接地によって引き起こされた損害やけが（感電）に対して、責任は負いかねます。

本製品を電源に接続できるのは、資格のある電気技術者のみです。

電気技術者は、国内規制および現地の電気事業者に対するその他の規制を熟知していて、それに従う必要があります。

設置後は、すべての電気部品を確実に遮蔽し、ユーザーの手が届かないようにしてください。

定格消費電力

型式表示シール参照

接続データ

接続データについては、型式表示シールを参照してください。これらが屋内の主電源と一致することを確認してください。

漏電ブレーカー

さらに安全性を高めるために、漏電ブレーカーの設置をお勧めします。

警告

本製品は必ず接地（アース）してください。

アフターサービス、型式表示シール

故障の際の連絡先

お客様では対応できない故障が発生した場合は、ミーレ代理店またはミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

ミーレ・カスタマーサービスの連絡先情報は、本冊子の最終ページにあります。

トレーニングの目的で、電話による通話をモニターし、録音する場合がございます。また本冊子に記載されているようなお客様が対応できる故障でのサービス訪問でも、サービス料金が適用されることにご留意ください。

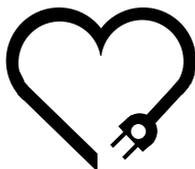
ミーレにご連絡いただく際は、お使いの機器の型番と製造番号をご用意ください。この情報は、型式表示シールに記載されています。

型式表示シール

本体に付属している予備の型式表示シールをここに貼付してください。型式番号が本書の裏表紙に記載されている番号と一致することを確認してください。

保証条件と保証期間

ご使用の製品に同梱されている保証書を参照してください。ご不明な点がございましたら本冊子の最終ページに記載されている弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。



愛情点検

長年ご使用の調理機器の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 電気コードや差し込みプラグが異常に熱くなる。
- 食品が加熱されないことがある。
- 加熱が止まらないことがある。
- 運転中に異常な音がする。
- 異常な臭いがしたり煙が出る。
- 機器に触るとビリビリと電気を感じることもある。
- その他の異常や故障がある。



●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

カスタマーサービス 固定電話からはフリーダイヤル

 0120-310-647

携帯電話からはナビダイヤル

 0570-096-300

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12 オリックス目黒ビル4階

www.miele.co.jp

KM 7564 FL, KM 7684 FL

ja-JP

M.-Nr. 11 302 250 / 07